

8月から約1か月間、オーストリアのウィーン大学の学生が荒川区でホームステイをしながら、海外インターン生として区役所の仕事を体験しました。



【ウィーン大学 日本語学科生】(右から) Andreas Ritzer (アンドレアス リッツェル) さん、Simone Beno (シモーネ ベノ) さん、Kevin Perger (ケビン ペルガー) さん

## ～インターンプログラム～

8月6日 オリエンテーション

8月7～8日 荒川ケーブルテレビ研修

8月12～15日 保育園研修

8月17～27日 ウィーン高校生の引率・通訳

## 自己紹介 Andreas Ritzer

私はオーストリアから来たアンドレアスです。日本語と日本の伝統文化に興味を持っていたので、4年前から日本語の勉強を始めました。でも日本語はとても難しく、長い間日本にいないと話せるようにならないと考えたので、高校生の時に鎌倉にある七里ヶ浜高校へ半年ほど留学しました。今はウィーン大学の日本語学科に入っています。

## 研修について

私は、インターン生として8月6日から8月30日まで荒川区国際交流協会事務局で仕事を体験した。今回は、以前日本に来た時とはまた違う経験が沢山出来た。この4週間でいろいろなところに行けて、とても勉強になった。1週目は荒川ケーブルテレビに行って、どうやってテレビの番組が作られているかを見た。ロケ先にも行き、荒川区の様々な面白い場所を知ることができた。

2週目は東尾久保育園でお手伝いして、とても面白かった。保育園は区役所と荒川ケーブルテレビでの研修とまた違った。子供たちとすぐ仲よくなって、とても楽しい時間を過ごせた。「アンディ先生、なんで金髪なの？」と何回も聞かれて、笑いながら「オーストリア人だから」と答えた。また、一緒に日本のおもちゃで遊んだり、食事したり、昼寝したりしていたので、日本文化の勉強にもなった。子供たちが寝ている間、毎回先生たちとオーストリアと日本について話せて、とても面白かった。それで先生達はオーストリアの旗と世界地図を保育園の壁に張ってくれて、とてもうれしかった。

荒川区はウィーンのドナウシュタット区と海外友好交流都市になっているので、8月17日から27日までウィーンの高校生6人と先生1人が荒川区に来て、私達は通訳として10日間同行した。それで、富士山、赤土小学校、谷中銀座、秋葉原、小石川後樂園、江戸東京博物館等に行って、通訳しながら同行できて、とても良かった。また、三味線と茶道の体験もできた。

私は、日本のことが大好きなので、高校生に日本のことをドイツ語で教えるのがとても楽しかった。



高校生が帰国する前日に、サヨナラパーティーをした。私のホストファミリーの方も来て、一緒にお祝いしたのだが、それで私も帰国の日が近づいていることに気が付いて、とても寂しくなった。

この研修でできた経験は、とても大切なことだと思う。

とても印象的で貴重な4週間だった。みなさんのおかげで楽しい時間を過ごせて、深く感謝している。

### 自己紹介 Simone Beno

初めまして、ベノ・シモーネと申します。今、ウィーン大学の日本学科の2年生です。

以前から言語の勉強が一番好きで、特に日本語と日本の文化に興味を持っていましたから、2年半ぐらい前に本格的に日本語を勉強することにしました。

今回は2回目の来日ですが、毎回この国の美しさ日本人の優しさに感動します。将来も、絶対こちらで生活したいと思います。

### 研修について

今年の8月、日本の会社で働いたことがなかった私は、荒川区役所で4週間研修をさせていただいた。最初から最後まで区役所の皆様と一緒に楽しく過ごして、毎日新しい経験をするのができ、素晴らしい時間だった。

その4週間に忘れない体験がいっぱいできたが、一番大切な思い出は原保育園でアシスタントをしていた4日間である。疲れるところもあったが、子供と遊んだりみんなと仲良しになったりすることができて、本当に嬉しかった。保育園の先生たちもとても優しく、毎日そのように一所懸命頑張るようにしていた。荒川ケーブルテレビでの研修もとても面白かった。テレビ番組のプロダクションを初めて見るのは、本当に勉強になった。また、自分でテレビ番組に出るのもとても光栄なことだった。

ドナウシュタットから交流プログラムに参加する高校生たちが来ていた間も様々な経験ができた。

高校生たちはみんな日本語が話せなかったなので、私たちは通訳として参加し、そしてずっとお手伝いしていた私たち通訳者も、三味線や茶道体験などが出来た。

それから、東京の色々なところでも観光していた。通訳の仕事は時々まだ勉強中の私たちにとって困難であったが、困難な時にも頑張ることで日本語の言語能力を高めて、または日本文化の知識を深めることができて、本当に良かったと思う。

今、区役所での研修がそろそろ終わりに近づくが、ぜんぜん帰りたくなかった。皆様と一緒に働きながら楽しい時間を過ごして、毎日今までしたことのない経験をするのができて、心から感謝している。決して一生忘れない4週間になったのである。



### 自己紹介 Kevin Perger

はじめまして、ケビン・ペルガーと申します。現在、ウィーン大学の2年生であり、日本学を専攻しております。中学校時代から言語学に非常に深い興味を持ち、漢字の勉強を始めてから語源学にもとても引かれています。将来は日本に関係がある会社に就職したいと思っています。

### 研修について

荒川区役所にインターンとして受け入れていただき、8月6日から9月4日まで研修してきた。区役所の職員の皆さんは優しくして下さい、短気な人は一人もいなさそうだった。多様な仕事をさせて頂いたので、

とても勉強になった。

荒川ケーブルテレビでNHKのナレーターさんに会えたり、撮影していただくこともあった。荒川ケーブルテレビを見られる方が、私たち研修生をテレビで見たかもしれない。それから、原保育園でもとても面白い経験ができた。最初子どもたちの人数でちょっと驚いたが、とてもかわいい子どもたちだったので、すぐ慣れてきた。研修の前は、日本の保育園の制度はオーストリアと近いと思っていたが、全然違う点が多いと感じた。4日間保育園児と遊んだりして、日本の社会と文化をもう少し分かるようになった気がする。でも日本の勉強だけではなく、文化交流的にも成長した。

荒川区の海外友好交流都市であるウィーン市ドナウシュタット区から高校生6人が来日してからは、一緒に様々な所へ見学しに行って、とても面白くて伝統的なことを体験することができた。ウィーンの高中生たちが日本に滞在した間に、私たち研修生が独和と和独の通訳をしたりした。たまにチャレンジしたが、日本語が好きな私にとって魅力的な仕事だった。

荒川区は東京の一般的なイメージとずいぶん違うことを知って驚いた。結構落ち着いている雰囲気を持っていて、とてもいい街だと感じる。日本語能力や異文化間能力を高めることができた気がする。とてもいい思い出を作ることでもできて、全体的にこの研修は言葉にできないくらい面白くて、よかったと思っている。



インターン生を家族のように温かく迎えてくださったホストファミリーの皆様、ありがとうございました。

## ★事業報告★

### □ ドナウシュタット区高校生が来区しました

荒川区の海外交流都市ウィーン市ドナウシュタット区の高中生6名と引率者の方が、8月17日（土曜日）～27日（火曜日）まで荒川区に滞在しました。滞在中、荒川区からウィーンへ派遣された高校生宅にホームステイをし、海外インターン生とともに様々な交流事業を行いました。

西尾久の大林院でゆかたの着付けや茶道体験をしたり、荒川区の「モノづくり見学・体験スポット」である「翠屋」（竹工芸）や「三味線かとう」で三味線体験をするなど、日本の伝統文化に触れていただきました。また、ラルゴフットボールクラブの子ども達と、フットサルを通して交流を深めました。

この事業を支援してくださっている東京荒川ライオンズクラブ様、ホストファミリーの皆様、高校生の引率等にご協力いただいたボランティアの皆様、思い出に残る温かい交流をありがとうございました。



【西川区長とウィーン高校生及び海外インターン生】



【大林院にて 浴衣・茶道体験】

## ★今後の事業予定★

### □ 外国人のための無料専門家相談会を開催します

毎日の生活の中で困っていること、聞きたいことの相談ができます。弁護士をはじめ、各分野の専門家が無料で相談に応じます。

日時 9月29日(日曜日) 受付：午後1時30分～4時

場所 南千住駅前ふれあい館 荒川区南千住7-1-1 3階

### 通訳ボランティアを募集しています！

相談者と専門家相談員をつなぐ「通訳ボランティア」の方を募集しております。  
当日、通訳ボランティアをお引き受けくださる方は、事務局までご連絡ください。

### □外国人のための華道教室を開催します！

空きペットボトルを利用して花器を作り、フラワーアレンジメントを作ります。

生けた花は、持って帰ることができます。日本人の方にも、外国人の方にも人気の教室です。

日時 10月4日(金曜日) 午後2時～4時

場所 荒川区男女平等推進センター(アクト21) 東尾久5-9-3

講師 草月流 松岡はるみ 先生

参加費 500円

申込 氏名、住所を添えてメール、FAX または電話で事務局までご連絡ください。



### □留学生に寄付する生活用品を募集します

区内にある日本語学校では、10月に新入生を迎えます。留学生が日本での生活を始めるにあたって、生活用品を必要としていますので、会員の皆様やお知り合いのお宅で、ご寄付をいただける用品がありましたら、ご協力をお願いします。

■募集用品 タオル、シーツ、石けん、洗剤、傘など(大型家電製品、衣類は不可)

※タオルなどの布製品は未使用のもの、食器・調理器具などは新品または新品同様のものをご提供ください。

■受付期間・場所 10月18日(金曜日)～25日(金曜日)の間に  
事務局(区役所3階13番窓口)へお持ちください。

### □ 国際交流バスハイクのお知らせ

区内の日本人と外国人の方々との相互交流を目的とした日帰りバスハイクです。

今回は荒川区の交流都市の茨城県つくば市を訪問します。

※申込み方法・詳細は国際交流協会だより10月号でお知らせします。

日時 11月9日(土曜日) 荒川区役所 集合・解散

対象 区内在住・在勤・在学の外国人・日本人、各20人(申込順)

内容 筑波山ハイキング、しいたけ狩り等(予定です。内容は変更になる場合があります。)



### 「事務局だより」をe-mailで配信します！ぜひ、ご利用ください！

メール配信の方には、事務局使いだけでなく、オーストラリア観光局や東京都国際交流委員会メールマガジンの配信など、国際交流に関する様々な情報を提供しております。是非ご利用ください。

荒川区国際交流協会事務局 e-mail:[bunka@city.arakawa.tokyo.jp](mailto:bunka@city.arakawa.tokyo.jp)